

## 三芳小学校



【開校年】  
明治 22 年  
【校長】  
金子 睦

「まなびあい」の中で力を高める子の育成をめざして  
開校130年目の今年度は、15学級367名の児童、44名の教職員でスタートしました。今年度も学校教育目標「ルールを守る子 チームワークをつくる子 ベストをつくす子」実現のため、「まなびあい」の中で力を高める子の育成をめざします。「まなびあい」を大切にすることは、開校百年を記念して建てられた像に由来します。台座には「未来は君たちのものである。友を愛し、常に学び続けようとする強い心と正しいことをなしていこうとする勇氣をもつ。」とあります。

今年度は「みんなでつながる力」「よく生きる力」「真剣に自分と向き合う力」の非認知能力「みよしの力」を育てられるよう、指導の重点を整理しました。教職員一丸となって、子どもたちが生き生きと活動し、生きる力をはぐくむ学校づくりに励みます。

## 藤久保小学校



【開校年】  
昭和 45 年  
【校長】  
松本 正彦

「笑顔いっぱい、生き生きと学ぶ藤っ子」を保護者・地域の皆さんとともに育みます  
今年度は「子どもを主語にした授業づくり」で、学力向上をめざし、以下の3つの重点目標で笑顔あふれる学校をつくります。

重点目標「藤久保小チャレンジ」  
①合理的配慮ができる子を育てる  
②元気に挨拶や返事ができ、感謝を体現できる心豊かな児童を育てる  
③確かな学力を定着できる児童を育てる  
④健康で体力のある児童を育てる  
⑤安全・安心・きれいな学校づくりを推進する  
⑥ふるさと三芳（藤久保）を愛する子どもの育成を図る  
⑦教職員事故の根絶と働きがいのある職場づくりの推進  
新校舎への移転を間近にひかえ、愛着のある学び舎に感謝の気持ちを伝えるメモリアルな年に、そして地域との連携を一層深める一年にしていきます。

## 上富小学校



【開校年】  
昭和 47 年  
【校長】  
大類 達也

「教師も児童も共に学び、保護者・地域から信頼される学校」をめざして  
本校は、今年で開校54年目を迎えました。学校教育目標「伝えよう 自分を つながろう ともに」のもと、教育活動において、自分の考えをまとめ、学び合いの場面を意図的に設定することで、発信力を高め、プレゼンテーション能力の育成に取り組みます。また、世界農業遺産の中にある学校として地域との「つながり」を継承しつつ、体験活動を充実し、学級・縦割りグループ・家庭・地域と連携した教育活動を推進します。今年度も本校は学校・家庭・地域が一体となり、皆さんの「協力のもと「チーム上富」として課題を共有しながら、子どもたちのより良い成長のため取り組みます。

左のマスケットキャラクターは、昨年度の6年生が上富小学校をPRしようという学習の中で決定しました。

## 唐沢小学校



【開校年】  
昭和 50 年  
【校長】  
鈴木 恵

直向きに伸びようとする子どもたちをサポートする学校  
本校は、「よく考える子・思いやりのある子・たくましい子」を学校教育目標とし、「やる気（知）」「勇気（徳）」「元気（体）」を合い言葉に、一人ひとりの笑顔が輝く教育を推進していきます。

今年度も「学びに向かう力が伸びる学校づくり」をテーマとし、非認知能力の育成を通して、以下のことに取り組みます。「子どもを主語にした授業づくりの推進」「地域の教育力を取り入れた教育活動の推進」特に「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業力向上を図っていきます。さらに学校応援団の支援を受け、子どもたちの自己肯定感が高まる活動を進めていきます。

地域の皆様と手を取り合いながら、教職員一同「チーム唐沢」として子どもの成長を支えていきます。

## 竹間沢小学校



【開校年】  
昭和 56 年  
【校長】  
間中 千恵子

子どもも大人も 夢に向かつて楽しく元気に学ぶ学校  
本校は「わかる」「できる」を大切にしたいユニバーサルデザインを基盤とした学校づくりを進めます。また、公民館と連携して、地域学校協働本部の研究を進めます。学校教育目標は「思いやりのある子 自ら考える子 最後までがんばる子」としています。

特に、互いのよさや違いを認め、特別支援学級「たけのこ」や通級指導教室も活用し、「一人一人の教育的ニーズに応じた教育活動を進め、子どもと保護者に寄り添った学校づくりを大切にします。そして、どの子どもも竹間沢小学校の子として、大切にします。偏見や差別をなくするための最大限の努力をしていきます。また、家庭へのメッセージとして「あたたかい 家庭の会話 楽しむ」を発信し、学校と家庭がスクラムを組んで子どもたちの教育活動に取り組めます。



教育だより  
令和 7 年度

誰もが幸せに生きる夢の実現に向けて  
各小中学校の目標と取り組みをお伝えします。  
問い合わせ 学校教育課 内線 522・523

# 町内小中学校の目標と取り組み



写真：連合運動会の徒競走の様子

## 三芳中学校



【開校年】  
昭和 22 年  
【校長】  
林 武嗣

生徒を主語にした学校づくり  
本校は歴史のある伝統校で、開校79年目を迎えます。「継承の中の創造」のもと、伝統を継承しつつ、創造的な教育活動を展開し、家庭・地域との連携を深め、信頼される学校づくりを推進します。

今年度は、学校経営方針を「生徒を主語にした学校経営」と定め、学校教育目標（格好いい中学生）の実現に向けて教育活動を進めます。そのために、授業をはじめ、学校行事やその他の教育活動において意図的に生徒が主語となる活動場面を設けて、生徒の良いところを見出し、認め、褒め、励まして伸ばす指導を徹底し、自己肯定感を高めていきます。また、町の教育施策「MOVEプラン」を受けて、生徒の非認知能力の向上をめざした授業づくりを進め、生徒の学びに向かう力を育成し、学力の向上につなげます。

## 三芳東中学校



【開校年】  
昭和 52 年  
【校長】  
宇佐見 宏一

笑顔・夢・感動があふれ、意欲的に学び、自らの成長が実感できる学校  
開校49年目を迎え、学校教育目標に「心豊かな生徒」「意欲的に学ぶ生徒」「たくましく生きる生徒」を掲げ、教職員が一致団結して教育活動に取り組んでいます。

本年度は、「確かな学力と学びに向かう力の育成」「豊かな心と健やかな体の育成」「生徒指導・教育相談の充実と不登校対策の推進」を重点に学力・体力の向上、三芳町MOVEプラン「世界とつながるプロジェクト」の推進、不登校・いじめ問題への対応、生命の教育の推進、体験活動の充実等、推進します。

また、授業・学校行事・生徒会、委員会活動・部活動などで生徒が主体となって活躍する場面を創造し、生徒の自己肯定感・自己有用感を高めていきます。

## 藤久保中学校



【開校年】  
昭和 59 年  
【校長】  
菅谷 和孝

先を見通す力の育成  
今年度の学校教育目標は「自ら考え進んで行動する生徒」、めざす生徒像は「自らよく考え意欲的に学ぶ生徒」「心豊かで思いやりのある生徒」「健康でたくましく生きる生徒」です。めざす学校像は「可能性に挑戦し、ともに学び、夢に向かう「そぞろ力」を育む学校」です。また、昨年1月に改訂した新藤中RODH無償のあいさつ・前向きな返事・想い溢れる言葉かけV」に加え、新たに作成した行動目標「藤中 ACTION Next one 一つ先・Another one もう一つ・More over やる」その上」を意識させ、社会で生き抜く力を育成します。「学力・体力の向上（授業力の向上）」「GIGAスクール構想の推進」「いじめ防止不登校対策」「生命の教育の推進」に層層をかけ、「チーム藤中」を合い言葉に、家庭・地域・教職員の力を結集し、生徒の夢の実現に努めます。